開講専攻	授　業　科　目	担　当　教　員	必修選択の別	単位数
看護学 検査技術科学 2セメスター　金・4	生体機能学Ⅱ	高井　良尋　ほか	必修	1
授業題目	生体の働くメカニズムを理解する。			

授業科目の目的・概要及び到達目標等

人体は多くの器官で構成されており、無数とも言える機能を備えている。これら諸器官の機能はどのように発現し調節されるのか、さらに器官の総体である人体がどのように内部環境（体内環境）を保持し、外環境に適応するのかを解説する。

人体に日常的におきていることを生理学という科学の目で眺め、科学の言葉で考える基礎を築くことを目標とする。

授業計画

回数	該当専攻	講義	内容	講師
1	看検	内分泌系	内分泌系各論	大高　徹也
2	看検	栄養・代謝系	栄養素	小林　光樹
3	看検	栄養・代謝系	栄養の吸収と代謝	小林　光樹
4	看検	体温	体温の維持と調節	小林　光樹
5	看検	運動系	骨格筋の構造，収縮	大石　幹雄
6	看検	運動系	神経，随意運動と不随意運動	小林　光樹
7	看検	神経系・感覚器系	中枢神経と末梢神経の関係	小林　光樹
8	看検	神経系・感覚器系	神経系が働くとき	洞口　正之
9	看	神経系・感覚器系	自律神経	丸岡　　伸
10	看	神経系・感覚器系	感覚受容器の一般性質，視覚器・聴覚器と大脳との関係	丸岡　　伸
11	看	神経系・感覚器系	中枢神経系	齋藤　秀光
12	看	血液・造血器系，免疫系	血液の成り立ち	小林　光樹
13	看	血液・造血器系，免疫系	造血機能	小林　光樹
14	看	生殖器系	男性生殖器の機能	高林　俊文
15	看	生殖器系	女性生殖器の機能	高林　俊文

成績評価の方法及び基準

期末試験

教科書・参考書

解剖生理学（標準看護学講座２、金原出版）